

テーマ	審議会での主なご意見	答申案への反映状況等
構成・表題	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1章、第2章、第3章の関係が分かりにくい。第1章は「創造戦略」、第2章は「創造戦略の展開を支える都市空間」、第3章は「新たな創成期を切り開く行財政運営」としてはどうか。(為定委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2章の表題を「戦略を支える都市空間」、第3節の表題を「戦略の展開に当たって踏まえるべき行財政運営の視点」に修正 (P78、P110)
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 (2)「成果指標の設定による進捗管理」の記載内容について、成果指標を設定した背景や考え方などをもっと分かりやすく記載すべき。(丸山委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の表現に修正 目標とする成果指標やロードマップを設定するなど、実現性を確保するための目安を設け、明確な進捗管理を行います。成果指標の選定に当たっては、市民への分かりやすさや、戦略の進捗管理を行う上で集約的・代表的である項目を選定し、それぞれの創造戦略におおむね2つの指標を設定します。(P4)
第1章 創造戦略【成果指標】	<ul style="list-style-type: none"> ● 成果指標が、どういった観点で設定しているものなのか分かりにくい。(中嶋委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの成果指標に、「選定の考え方」を明記
第1章 創造戦略 2-②「子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「社会的養護体制の充実」について、児童虐待などが増加していることを踏まえ、児童相談所を積極的に活用していく観点を盛り込むべき。(金子委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主な取組「社会的養護体制の充実」において、「児童相談所などの相談・支援機能の強化」を明記 (P18)
第1章 創造戦略 3-①「地域マネジメントの推進」 3-②「地域資源を活発化する環境づくり」	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の主体的な活動を促進する「3-②地域資源を活発化する環境づくり」について、まちづくりセンターや区役所など行政による支援体制を主とした「3-①地域マネジメントの推進」の前に位置付けるべき。(梶井委員、木下専門委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 創造戦略3-①「地域資源を活発化する環境づくり」、3-②「地域マネジメントの推進」に修正 (P23、P25)
第1章 創造戦略 5-②「創造性を生かしたイノベーションの誘発」	<ul style="list-style-type: none"> ● 主な取組の「クリエイティブ産業の創発と人材育成」と「文化芸術とビジネスの交流促進」の違いが分かりにくいので、整理してほしい。(早川委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「文化芸術とビジネスの交流促進」において、「芸術家とものづくり企業や建設業などの多様な地場企業との交流や連携を促進」と明記 (P47)
第1章 創造戦略 5-④「シティプロモート戦略の積極展開」	<ul style="list-style-type: none"> ● 5-④「シティプロモート戦略の積極展開」は、4-②「観光振興の一体的推進」における「ターゲットに合わせたプロモーション活動」や「札幌・北海道の強みを生かしたM I C Eの誘致」とは、趣旨が違うことが理解できるわかりやすい表現にすべき。(為定委員) ● 5-④「札幌の魅力を生かしたイベント等で集客を図ります」における「冬季スポーツ大会の誘致や冬のイベントの集客力向上」の表現は、観光振興に寄った表現になっているので、シティプロモートを意識した項目であることがわかる表現に修正すべき。(為定委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「“SAPP_ RO（サッポロスマイル）笑顔になれる街”の普及推進」において、「市民や企業が、札幌ならではの魅力に誇りを持ち、その魅力を高めて世界に発信していくコミュニティづくりを進めるため、笑顔をキーワードとするシンボルマークの普及促進などを実施します。」と明記 (P51) ● 次の表現に修正 (P51) 「札幌の魅力を感じ、発信する人を更に増やします。」 ○冬季スポーツ大会の誘致や冬のイベントの魅力向上 札幌ならではの冬の魅力を感じ、発信する人を増やすため、2017年アジア冬季競技大会の開催を通じて札幌のPRを展開するほか、国際的な知名度を高める冬季スポーツ国際大会の誘致を推進します。また、雪まつりなど既存の冬のイベントの集客力を高めるため、開催の在り方を再構築し、魅力の向上を図ります。

第2章 都市空間 第2節 都市空間の創造に当たっての基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 85ページの「札幌型の集約連携都市」の概念図が唐突に出てくるイメージを受ける。(高木委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌型の集約連携都市のイメージ図に説明書きを追加 (P86)
第2章 都市空間 第3節 4「持続可能な都市を支えるネットワーク」	<ul style="list-style-type: none"> 「交通ネットワーク」で、地下鉄短絡だけではなく、例えば幼稚園の通園バスを活用するなどして、地域をこまめに回るようなバスのようなものを検討できなか。(内田委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> 【地域の足を確保する取組の推進】 「自家用車への過度な依存を避けながら、地域での生活が維持できるよう、地域の需要に応じた路線/バスルートの見直し等の運行の最適化を図る取組や、多様な主体と連携した生活交通を確保する取組などを推進します。また、ノンステップバス導入支援などによるバスの利便性向上を図ります。」に修正 (P93) <p>※多様な主体と連携した生活交通を確保する取組としては、例えば以下のようなものが想定されます。 福祉施設などの送迎バスの活用、地域が主体となったボランティア運行、バス事業者との適切な役割分担によるバスネットワークの維持など</p>
第2章 都市空間 第3節 4「持続可能な都市を支えるネットワーク」	<ul style="list-style-type: none"> 「みどり豊かな空間のネットワーク」で、みどりのネットワーク化とはどういう状態を指しているのか、分かるように記載すべき。(星野委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 【骨格となるみどりの充実】 みどりのネットワークがイメージできるように「環状グリーンベルト」や「オープンスペース・コリドー」の説明を明記 (P104)
第3章 行財政運営の視点	<ul style="list-style-type: none"> 3「財源の確保を意識した事業展開と不断の見直し」と、6「計画的かつ機動的な財政運営」は、ひとくくりか近くにあった方がいい。(木下委員) 5「変化に対応できる組織」に、7「市民・企業などとの連携の強化」の要素を加えるなど工夫した方がいい。(木下委員) 5「変化に対応できる組織」は、具体的な取組について、柱建てをしてわかりやすくすべき。(木下委員) 5「変化に対応できる組織」は、具体例を明記してほしい。例えば、アートセンターや芸術祭などは、経済、まちづくり、文化等の部局間の連携が必要。(早川委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 類似の内容を近づけ、わかりやすい記載に整理するとともに、「変化に対応できる組織」については、2本柱とし、具体的な取組例を明記。(P112、113)